

科目名		授業形態	担当教員名	
生物学		講義	沖田 章子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
幅広い生物学の中で、医療系の学生として学ばなければならない大きな2つの柱「生物の原理」と「ヒトに関する基本」を修得し、専門課程を理解できる力をつけることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 細胞の構造と機能を説明できる。 2. 遺伝子とは何かを説明できる。 3. 発生のしくみを説明できる。 4. ホメオスタシスのための神経系、内分泌系の役割を説明できる。 5. からだを守る免疫系について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス	学習の進め方	生物とは何か	
2	生命の単位（1）	細胞		
3	生命の単位（2）	生体の成分	<レポート①	細胞 >
4	生命を維持する働き（1）	酵素		
5	生命を維持する働き（2）	代謝	<レポート②	代謝 >
6	生命の連続性（1）	遺伝の法則		
7	生命の連続性（2）	遺伝子の発現	<レポート③	遺伝 >
8	生命の連続性（3）	発生		
9	生命の連続性（4）	発生	<レポート④	発生>
10	生命を守る働き（1）	恒常性(神経系)		
11	生命を守る働き（2）	恒常性（内分泌系）	<レポート⑤	恒常性 >
12	生命を守る働き（3）	免疫		
13	ワークショップ	細胞・免疫	グループ学習	
14	ワークショップ	細胞・免疫	発表	
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	生物の基礎となる仕組みを理解できているかを評価する。		
レポート	20%	単元ごとに、大切な語句や現象を理解できているかを評価する。		
小テスト				
平常点				
その他	10%	免疫についてグループ学習を行う。発表で、理解した仕組みを伝えられたかを評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
<基礎固め>生物	松村瑛子 安田正秀	化学同人		
視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録	鈴木孝二 監修	数研出版		
自由記載	講義資料、図録に沿ったプリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
教科書、図録を用いて予習をして、生物用語の確認をすること、日常生活で医療や化学の話題に関心を持つことを希望する。				